



08

競技及び会場

ダイナミックかつ安全な都市で競技を開催

- ・ 85%の競技会場を選手村から半径8km圏内に配置
- ・ 将来へのレガシーとなるランドマークとしての新オリンピックスタジアム
- ・ 1964年大会の競技会場を活用し、レガシーとして再生
- ・ 都市の中心で長期的なレガシーを提供する11の新設競技会場
- ・ 戦略的に活用する仮設会場を優れたロケーションに配置



2020年東京大会は、世界で最も先進的な思考を持ち、安全な都市の一つである東京の中心において、オリンピック・ムーブメントを普及させ、スポーツとオリンピックの価値を活力あふれるように実施するという深い意欲から立候補したものである。

こうした熱意ある意欲と一致するように、2020年東京大会は、選手を、極めてコンパクトな大会の物理的、精神的な中心に据えた、活力にあふれ、効率的なオリンピック・プランを有している。

東京圏に位置する33カ所の競技会場のうちの28カ所、IBC／MPC、そしてIOCホテル、IPCホテルは、オリンピック・パラリンピック選手村から8キロ以内に設置される。

この計画により、非常に効率性の高いオリンピック用の移動手段と、世界に名高い東京の公共交通ネットワークは、選手及びすべての関係者にとって迅速で利便性の高いオリンピック交通サービスとなる。

会場の選定にあたって、2020年東京大会は、競技会場の選定及び配置に関するIOCのすべてのガイドライン原則を満たした質と価値を具体的に凝縮して示す、またとない機会をオリンピック・ムーブメントに提供する。

東京2020オリンピック・プランにおいては、以下を具体化している。

- ・ オリンピック・レガシーの中心を象徴する既存会場。これらは1964年の東京オリンピック大会以降も継続して使われ、定期的に改修されている。そのため、当時の会場は東京の活力の中心的役割を果たしており、56年後も、東京及び日本がスポーツを重視し、環境にやさしいという視点を強く持っていることの証となる。
- ・ 象徴的な建造物や環境のなかに位置する既存の会場。これらは東京及びこの地域におけるスポーツ、文化、経済的なニーズを満たしている。こうした会場の多くは、国際的なスポーツ大会をこれまでも開催しており、一部は、2020年オリンピックに向けた改修が適宜行われる予定である。また、すべての会場が、国際競技連盟と協力して、大会の実施とスポーツ競技に必要とされる高い基準を満たすことが可能である。
- ・ 現代東京のビジョンとニーズが織り込まれた新たな恒久施設は、スポーツと文化の中心に現在不足している部分を埋め、成長し続ける活力ある大都市のニーズに対応していく。
- ・ 仮設会場は、持続可能性を優先するクリエイティブなデザイナーが提示する最高の仕様に沿って提供される。大会ごとに施設整備システムの可能性が広がり、2020年東京大会は世界をリードする革新者としての立場を生かし、高度な持続可能性を満たした計画と実践を備えたオリンピック・スポーツに値する会場を提供する。
- ・ 実践性とダイナミクスを兼ね備えた会場は、ユニバーサル・デザイン・スタンダードとバリアフリー環境に対する東京の真摯な姿勢を通して、オリンピック・パラリンピック大会の開催場所となる。

壮大な背景と象徴的な環境において、2020年東京大会は、そのコンパクトな会場配置プランと最高の交通システム、大会計画を以って、選手がベストな状態でプレーすることを可能にし、すべてのオリンピック・ファミリーと観客が安全で快適な、意義があり、気分が高揚するような経験を2020年東京大会で味わえるような施設を提供する。

8.1 競技日程

テーマ8の付属書類Aに記載のオリンピックプログラムに基づき、以下の情報を表8.1に記入してください。

競技日程は、この活気があり治安の良い東京の中心における2020年大会のコンパクトなコンセプトの利点を反映している。

招致では、中心となる選手への影響を第一に考えて日程を立てるとともに、競技会場の総数を最低限に抑える方針に従って円滑な輸送ネットワーク及びコンパクトな会場インフラを最大限活用する。

メダルの授与は、最高のタイミングで行われ、選手のニーズとともに観客、大会関係者、報道関係者の期待に応えるよう、テレビの視聴や観客の要望がもっとも多いテレビのゴールデンタイムに合わせた週末に日程が組まれる。

2008年北京大会、2012年ロンドン大会、さらには前回の2016年の招致を教訓に、選手にとって最適な競技日程を立て、最大限の良い効果をもたらす大会成功の核とする。東京で2020年大会が開催されることになった場合、IOC及び国際競技連盟との緊密な連携のもと、引き続き日程を改善する。



表 8.1 - 競技日程

競技	種別	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	金メダル数計			
		(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)				
		-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				
開会式/閉会式				20:00 - 23:00 O.C.																	21:00 - 24:00 C.C.			
アーチェリー					12:00 - 14:00 15:00 - 17:00	09:00 - 11:00 14:00 - 18:00	09:00 - 11:00 14:00 - 18:00	09:00 - 13:00 14:30 - 17:30	09:00 - 13:00 14:30 - 17:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30		10:30 - 12:30 14:30 - 17:15	10:30 - 12:30 14:30 - 17:15									4		
陸上競技	トラック																							
	競歩																							
	マラソン																					07:30 - 11:00		
水泳	競泳				10:00 - 13:00 19:00 - 21:15	10:00 - 12:50 19:30 - 21:25	10:00 - 11:40 19:00 - 21:15	10:00 - 12:15 19:30 - 21:20	10:00 - 13:05 19:30 - 21:35	10:00 - 12:10 19:30 - 21:05		10:00 - 12:50 19:30 - 20:50	10:00 - 12:50 19:30 - 21:00										32	
	飛込					15:00 - 16:00 W/F(1)	15:00 - 16:15 M/F(1)	15:00 - 16:05 W/F(1)	15:00 - 16:05 M/F(1)		14:30 - 17:00 W	14:30 - 15:50 W/SF	14:30 - 15:45 W/F(1)	14:00 - 17:00 M	10:00 - 11:40 M/SF/F(1)	14:30 - 17:25 W	14:30 - 15:55 W/F(1)	14:00 - 17:30 M	14:30 - 16:10 M/F(1)				8	
	シンクロナイズド スイミング																						2	
	水球					10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:00 - 12:40 14:10 - 16:50		10:20 - 13:00 14:30 - 17:40		
						18:20 - 21:00 M	18:20 - 21:00 W	18:20 - 21:00 M	18:20 - 21:00 W	18:20 - 21:00 M		18:20 - 21:00 W	18:20 - 21:00 M	19:00 - 21:40 W/QF	18:20 - 21:00 M	18:20 - 21:00 W/SF	18:40 - 21:20 M/QF	18:40 - 21:50 W/F(1)	18:30 - 21:10 M/SF				M/F(1)	2
	マラソン 10km																09:00 - 12:00 W/F(1)	09:00 - 12:00 M/F(1)					2	
	バドミントン				09:00 - 12:00 14:00 - 16:30	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00		10:00 - 13:30 18:30 - 22:00	10:00 - 13:30 18:30 - 22:00									5	
バスケットボール					09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30		09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	09:00 - 13:00 14:30 - 18:30	14:30 - 18:30 14:30 - 18:30						12:00 - 17:00		
					20:00 - 24:00 W	20:00 - 24:00 M	20:00 - 24:00 W	20:00 - 24:00 M	20:00 - 24:00 W	20:00 - 24:00 M		20:00 - 24:00 W	20:00 - 24:00 M	20:00 - 24:00 W	20:00 - 24:00 M	20:00 - 24:00 W/QF	20:00 - 24:00 M/QF	20:00 - 24:00 W/SF	20:00 - 24:00 M/SF	19:30 - 24:30 W/F(1)		M/F(1)	2	
					13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:30	13:30 - 16:15 19:00 - 21:45	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:00		13:30 - 16:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:30 19:00 - 22:00	13:30 - 16:30 19:00 - 21:00	13:30 - 16:00 19:00 - 22:00	13:30 - 16:00 16:30 - 18:00	19:00 - 21:30 19:00 - 21:30	19:00 - 21:30 19:00 - 21:30		13:30 - 16:00 13:30 - 16:00		
ボクシング																								
カヌー	スプリント																							
	スラローム					13:30 - 17:40 M	13:30 - 17:30 M/W	13:30 - 15:55 M/F(1)	13:30 - 16:10 M/W/F(1)	13:30 - 17:00 M/W/F(2)													4	
自転車競技	トラック・レース																							
	ロード・レース																							
	マウンテンバイク																					16:00 - 18:00 W/F(1)		
	BMX																					10:00 - 11:30 10:00 - 12:00 10:00 - 12:20		
馬術	馬場馬術																							
	障害馬術																							
	総合馬術																							
フェンシング																								
サッカー																								

注：M=男子, W=女子, QF=準々決勝, SF=準決勝, F=決勝 (メダル数)

競技日

決勝

8.2 テストイベント

テストイベントの実施期間を明記してください。

競技別／種別ごとにテストイベント予定の年月と会場を記入してください。

大会に向けての万全の準備

オリンピック憲章、立候補都市に対するIOCの指示及び各国際競技連盟の管理のもと、大会組織委員会はオリンピック競技大会の前に実際の大会で使用予定の競技会場を使って可能な限り本番に近い状態でテストイベントを開催する。

テストイベントは、競技会場、競技運営、競技に関わる技術及びボランティアを含む要員、輸送、セキュリティ、技術システム等の運営を円滑に行うことを特に重視する。

テスト期間中に、大会の輸送システム、特に競技会場の輸送オペレーションのテストを、可能な限り多くの回数実施する。

加えて、より大規模なテストを追加的に実施し、公共交通、交通管理、選手輸送、メディア輸送、T3といった重要部分のテストを行う。最後に、開会式の輸送オペレーションに関しては、特別テストを計画する。

テストイベントでは、チームワークを試すとともに、運営全般にわたってその質を高めていく場とする。

テストイベントは原則として、オリンピック競技大会の2年～3ヶ月前に実施する。屋外のテストイベントは、可能な限り本番と同じ時期に合わせて行う。多種目にわたる複雑な大会の運営能力をテストするために、複数のテストイベントをクラスターやプリシнкт毎に、同時期に実施することも可能である。

テストイベントは大会までのコミュニケーション戦略のハイライトとなり、オリンピックムーブメントの中で、観客が一流のスポーツを体験する機会を広げてくれる。

会場建設日程は、テストイベント実施計画を考慮して設定される。

また、競技会場以外の施設及びすべての主要な施設(IBC/MPC、選手村、空港等)では、オリンピック競技大会前に、大会組織委員会が各施設の運営作業のテストを実施する。

表 8.2 - テストイベント

競技	種別	テストイベント	
		会場名	年月
アーチェリー		夢の島公園	2019年 7- 8月
陸上競技		オリンピックスタジアム	2020年 2- 4月
水泳	競泳	オリンピックアクアティクスセンター	2019年 8- 9月
	飛込		2020年2月
	シンクロナイズドスイミング		2020年4月
	水球	ウォーターポロアリーナ	2020年3月
	マラソン10km	お台場海浜公園	2020年 3- 4月
バドミントン		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	2019年 7- 8月
バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB	2019年 7- 8月
ボクシング		国技館	2019年 7- 8月
カヌー	スプリント	海の森水上競技場	2019年 7- 8月
	スラローム	葛西臨海公園	2019年 7- 8月
自転車競技	トラック・レース	有明ベロドローム	2020年 1- 2月
	ロード・レース (スタート)	皇居外苑	2019年 7- 8月
	ロード・レース (ゴール)	武蔵野の森公園	
	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	2019年 7- 8月
	BMX	有明BMXコース	2019年 7- 8月
馬術		夢の島競技場	2019年 7- 8月
		海の森クロスカントリーコース	
フェンシング		東京ビッグサイト・ホールB	2019年10-11月
サッカー		オリンピックスタジアム	2019年11-12月
体操		有明体操競技場	2020年4月
ゴルフ		霞ヶ関カンツリー倶楽部	2019年 7- 8月
ハンドボール		国立代々木競技場	2019年 7- 8月
ホッケー		大井ホッケー競技場	2019年 7- 8月
柔道		日本武道館	2019年11-12月
近代五種	フェンシング	武蔵野の森総合スポーツ施設	2019年 8-10月
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	
ボート		海の森水上競技場	2019年 7- 8月
ラグビー		オリンピックスタジアム	2019年 9-10月
セーリング		若洲オリンピックマリーナ	2019年 7- 8月
			2019年 7- 8月
射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	2020年4月
卓球		東京体育館	2019年11-12月
テコンドー		東京ビッグサイト・ホールB	2019年10-11月
テニス		有明テニスの森	2019年10-11月
トライアスロン		お台場海浜公園	2019年 9-10月
バレーボール	インドア	有明アリーナ	2019年11-12月
	ビーチバレーボール	潮風公園	2019年 7- 8月
ウエイトリフティング		東京国際フォーラム	2020年 1- 2月
レスリング		東京ビッグサイト・ホールA	2019年10-11月



8.3 要員確保

遂行しなければならない様々な職務全般を考慮した上で、競技運営に必要な要員を確保するために、どのような資源を活用しますか。

そのために、すでに何らかの措置を講じていますか。

貴国であまり人気のないオリンピック競技について、役員やボランティアの訓練のために行う対策を説明してください。

2020年東京大会には、各競技の運営管理の知識をもつ専門的な人材確保が必要である。同時に、「2020年の東京」に従って、大会の管理運営専門家の育成にも尽力し、スポーツの持つ力を活かしていく。これにより大会要員プログラムの基礎をつくり、モチベーションを高めていく。

適材の確保

専門的人材の確保

東京以外にも日本では過去10年間に世界選手権やワールドカップなどさまざまな大会を開催しており、2020年大会では各スポーツ分野の専門家が多数起用される。日本には、サッカー、バスケットボール、バレーボール等様々なプロスポーツや大規模アマチュア組織があり、競技運営の専門家が多数そろっている。以下の組織から、多くの人材を確保することが可能である。

- ・国内競技連盟(NF)
- ・日本オリンピック委員会(JOC)
- ・日本パラリンピック委員会(JPC)
- ・日本体育協会(JASA)
- ・東京都体育協会(TAAA)

常勤、非常勤に関わらずこれらの専門家たちを早い段階から大いに活用する。

また、大会組織委員会は、オリンピック又はパラリンピックの経験者から国際大会に関する専門的人材を確保する。こうした人材の強化は2020年東京大会招致で既に行われており、外資系企業や海外の専門家を広く受け入れるという「2020年の東京」の目的に組み込まれている。

大会組織委員会は、2014年ソチ大会(冬季)、2016年リオデジャネイロ大会、2018年平昌大会(冬季)までに、IOCと連携して専門的人材も強化する予定であり、海外交換留学システムやインターンシップを拡充して3,000人の若者を海外へ派遣し、世界に通用する人材育成の支援を「2020年の東京」の中で進めていく。

エネルギー関連、金融機関、広告代理店、マーケティング、輸送・旅行関連などの分野で、国内外の大会の開催運営をサポートし、成功を支えてきた専門的人材があり、大会組織委員会は必要に応じてこれらの人材を確保する。

ボランティア

2020年東京大会規模の競技大会の運営には、専門家に加え、多くのボランティアの参加が不可欠である。ボランティアは大会の顔として、観客、大会関係者に「2020年の東京」のコンセプトを浸透させ、この湧き立つ大都市で「未来をつかもう(Discover Tomorrow)」ための案内をしてもらう。

日本では障害者スポーツ団体を含む各種スポーツ団体の主導の下、4,000万人以上の一般スポーツ愛好家があり、スポーツイベントの管理運営のあらゆる面で豊富なボランティア、資格を持った専門家、インストラクターを確保することができる。

東京マラソンのような単独競技の大会でも、高校生、大学生を含む10,000人以上のボランティアが、大会の運営や観衆の整理をサポートしている。その結果、毎年200万人程の観客が整然と行動している。

また、東京オリンピックでは、都内435の高校、138の大学からボランティアのサポートを受けることができる。これらの学校は100万人以上の学生を抱えており、教育の一環としてボランティア参加を奨励している。オリンピック開催期間が学生の夏期休暇期間中であることから、バイリンガルの語学力をもつ多くの学生ボランティアが参加しやすい状況となっている。

東京都ではボランティアを支援するため、東京ボランティア・市民活動センターを設置している。ここではボランティア希望者に対し情報提供を行い、積極的な参加を促している。

東京都の策定した「2020年の東京」では、8つある目標の一つとして誰もがチャレンジできる社会を創ることを目指し、10年以上をかけてボランティアやNPOなど個人や組織が責任ある役割を担うシステムを構築している。また、東京都では1996年に語学ボランティア、2002年に観光ボランティア制度を創設し、海外からの訪問者のニーズに対応できる体制も整えてきている。

研修

日本では毎年各種スポーツの競技大会が多数開催され、競技役員、ボランティアとも2020年東京大会に向け、十分な経験を積むことができるが、大会組織委員会は今後、管理部門とボランティアの両方を対象に、特別プログラム及びテストイベントをはじめとする大会の開催を通して、さらなる人材育成を実施していく。審査員、審判、技術要員の研修は国内外の各スポーツ連盟と協力して実施する予定である。

2020年東京大会は、情報技術や関連機器の開発における世界トップレベルの日本の地位を活かすことで、研修プログラムを充実させるまたとない機会を提供する。

専門的人材の拡充

日本であまり注目されない夏季オリンピック競技のため、2020年東京大会では国内外の各スポーツ連盟と緊密に協力して、テストイベント実施に合わせ競技運営と会場運営に関わる雇用と研修プログラムを充実させていく。2016年リオデジャネイロ大会は重要な視察の場であるとともに、サポートが不十分なスポーツの実施についてボランティアを含め要員に多くを学んでもらうインターンシップの機会にもなる。

このようなスポーツについては、テストイベントの実施も、そのスポーツについての知識や興味を広めるための重要なコミュニケーションの手段である。





オリンピックスタジアム外観イメージ図
新国立競技場基本構想国際デザイン・コンクールにおける最優秀受賞作品

8.4 競技大会の開催実績

貴都市及び貴国で過去10年間に開催された国際的な総合競技大会及びオリンピック夏季競技種目に対応する世界選手権をすべて一覧表にしてください。

2020年までに貴地域でオリンピック夏季競技種目の世界選手権及び総合競技大会の開催が認められたものはありますか、あるとしたらそれはどのような大会ですか。

貴都市及び貴国で過去10年間に開催されたオリンピック夏季競技種目の大規模な国際競技大会を競技大会のレベル(世界選手権、総合競技大会、大陸選手権、その他の国際的イベント)に従って、表8.4に(必ずCD-ROMにエクセル形式で)記入してください。

オリンピック競技大会で使用予定の会場で開催された大会は(太字で)表示してください。

豊富な開催実績に基づく大会

日本では、毎年数多くのスポーツ大会が開催されており、東京でも多数の実績がある。また、過去10年に、日本は様々な世界選手権も開催してきた。日本の優れたインフラ、最先端の競技施設、緻密な大会運営、数多くのボランティアの協力等によって、今後とも国際競技大会等が成功裡に開催されていくことであろう。

また、卓球世界選手権団体戦(2014年)、ラグビーワールドカップ(2019年)等の大会が、これまでと同様の質の高さで成功することであろう。

CD-ROM 表8.4を参照

8.5 会場

表8.5に以下の情報を記入してください。

- ・予定されるすべての競技会場
- ・総座席数及び立見席数
- ・大会後の座席数
- ・予定される練習会場の数

会場の概要

東京は大会のコンセプトである「コンパクト」に沿ってその過去と未来が独特な形で融合され、過去の遺産を守りながら、未来に向かって「未来をつかむ(Discover Tomorrow)」ことができる都市であることを世界に示している。会場は1964年東京大会のレガシーが残るヘリテッジゾーンと、未来の都市開発モデルである東京ベイゾーンという2つのテーマ及び運営ゾーンに位置する。東京圏にある33の競技会場のうち28会場は選手村から半径8km圏内にあり、選手のことを最優先に考えた、極めてコンパクトな配置となっている。

計画されている37の競技会場のうち15会場(41%)は既存のものであり、その中の2会場は2020年大会のために恒久的な改修が必要

となる。既存会場のうち3会場は1964年大会の時に整備されたものであり、当時水泳とバスケットボールの会場だった国立代々木競技場は2020年ではハンドボールの会場に、体操や水球が行われた東京体育館は卓球の会場、日本武道館は1964年と同様2020年も柔道の会場として利用される。

2020年大会に向けて建設が予定されている競技会場は、総競技会場数のうち22会場(59%)であり、そのうちの11会場は東京のレガシーとして残す計画である。こうした恒久施設のうち、1964年のオリンピックスタジアムであった国立霞ヶ丘競技場は、テストイベントが行われる2019年までの完成を予定しており、2020年大会では開閉会式、陸上競技、サッカー及びラグビーの会場となる。武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に2016年の完成を目指しており、2020年大会では近代五種が行われる予定である。

会場の選定、建設状況及び立地は、東京の中長期計画「2020年の東京」を中心に、社会、開発、持続可能性に関わる東京都の計画に合わせるとともに、2020年東京大会を選手重視のコンパクトな大会にすることを旨とする。

表 8.5 - オリンピック競技会場

競技/種別	競技会場							練習会場数			
	会場番号	会場名	ゾーン名	座席数	立見席	総座席数	大会後座席数	FOP利用	FOP隣接	その他の練習会場	
アーチェリー	25	夢の島公園	東京ベイ	7,000	0	7,000	0	1	0	0	
陸上競技	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	1	4	
水泳	競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング	27	オリンピックアクアティクスセンター	東京ベイ	20,000	0	20,000	5,000	1	1	3
		28	ウォーターポロアリーナ		6,500	0	6,500	0	0	1	1
	水球	28	ウォーターポロアリーナ		6,500	0	6,500	0	0	1	1
マラソン 10km	13	お台場海浜公園	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	0	0	4	
バドミントン	23	夢の島ユース・プラザ・アリーナA	東京ベイ	7,000	0	7,000	5,700	0	0	2	
バスケットボール	24	夢の島ユース・プラザ・アリーナB	東京ベイ	18,000	0	18,000	16,300	0	0	3	
ボクシング	7	国技館	ヘリテッジ	10,000	0	10,000	10,000	0	0	1	
カヌー	スプリント	19	海の森水上競技場	東京ベイ	14,000	10,000	24,000	2,000	0	1	0
	スラローム	22	葛西臨海公園	東京ベイ	12,000	3,000	15,000	0	0	1	0
自転車競技	トラック・レース	10	有明ベロドローム	東京ベイ	5,000	0	5,000	0	1	0	0
	ロード・レース(スタート)	5	皇居外苑	ヘリテッジ	1,000	0	1,000	0	0	0	1
	ロード・レース(ゴール)	31	武蔵野の森公園	-	1,000	0	1,000	0	0	0	1
	マウンテンバイク	20	海の森マウンテンバイクコース	東京ベイ	2,000	23,000	25,000	0	1	0	0
	BMX	9	有明BMXコース	東京ベイ	5,000	0	5,000	0	1	0	0
馬術	馬場馬術、障害馬術、総合馬術	26	夢の島競技場	東京ベイ	14,000	0	14,000	2,300	0	1	0
	総合馬術(クロスカントリー)	18	海の森クロスカントリーコース	東京ベイ	0	20,000	20,000	0	0	1	0
フェンシング	16	東京ビッグサイト・ホールB	東京ベイ	8,000	0	8,000	0	0	1	0	
サッカー	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	0	2	
	30	東京スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	0	2	
	34	札幌ドーム	-	41,000	0	41,000	41,000	0	0	2	
	35	宮城スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	0	1	
	36	埼玉スタジアム2002	-	64,000	0	64,000	64,000	0	1	0	
	37	横浜国際総合競技場	-	72,000	0	72,000	72,000	0	0	2	
体操	11	有明体操競技場	東京ベイ	12,000	0	12,000	0	0	0	7	
ゴルフ	33	霞ヶ関カントリー倶楽部	-	1,000	24,000	25,000	0	0	1	0	
ハンドボール	3	国立代々木競技場	ヘリテッジ	12,000	0	12,000	9,200	0	0	4	
ホッケー	17	大井ホッケー競技場	東京ベイ	10,000	0	10,000	4,000	0	1	0	
	5,000			0	5,000	0	-	-	-		
柔道	4	日本武道館	ヘリテッジ	11,000	0	11,000	11,000	0	0	2	
近代五種	フェンシング	29	武蔵の森総合スポーツ施設	-	8,000	0	8,000	6,600	0	1	0
	水泳、馬術、ランニング、射撃	30	東京スタジアム	-	50,000	0	50,000	50,000	0	2	0
ボート	19	海の森水上競技場	東京ベイ	14,000	10,000	24,000	2,000	0	1	0	
ラグビー	1	オリンピックスタジアム	ヘリテッジ	80,000	0	80,000	80,000	0	0	1	
セーリング	21	若洲オリンピックマリーナ	東京ベイ	2,000	3,000	5,000	0	1	0	0	
射撃	ライフル	32	陸上自衛隊朝霞訓練場	4,600	0	4,600	0	1	0	0	
	クレー			3,000	0	3,000	0	1	0	0	
卓球	2	東京体育館	ヘリテッジ	8,000	0	8,000	6,000	0	0	1	
テコンドー	16	東京ビッグサイト・ホールB	東京ベイ	9,000	0	9,000	0	0	0	3	
テニス	12	有明テニスの森	東京ベイ	10,000	0	10,000	10,000	0	1	0	
				5,000	0	5,000	5,000	-	-	-	
				3,000	0	3,000	1,000	-	-	-	
				2,500	0	2,500	0	-	-	-	
トライアスロン	13	お台場海浜公園	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	1	0	1	
バレーボール	インドア	8	有明アリーナ	東京ベイ	15,000	0	15,000	12,700	0	0	1
	ビーチバレーボール	14	潮風公園	東京ベイ	12,000	0	12,000	0	0	1	0
ウエイトリフティング	6	東京国際フォーラム	ヘリテッジ	5,000	0	5,000	5,000	0	1	0	
レスリング	15	東京ビッグサイト・ホールA	東京ベイ	10,000	0	10,000	0	0	0	3	

競技会場数計：37



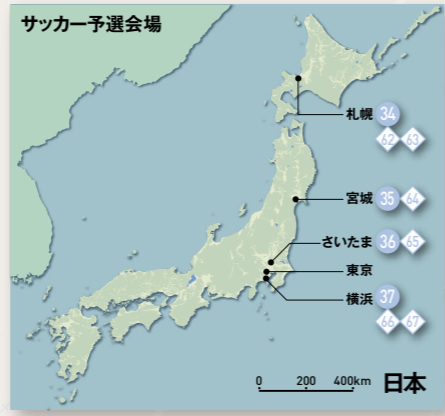
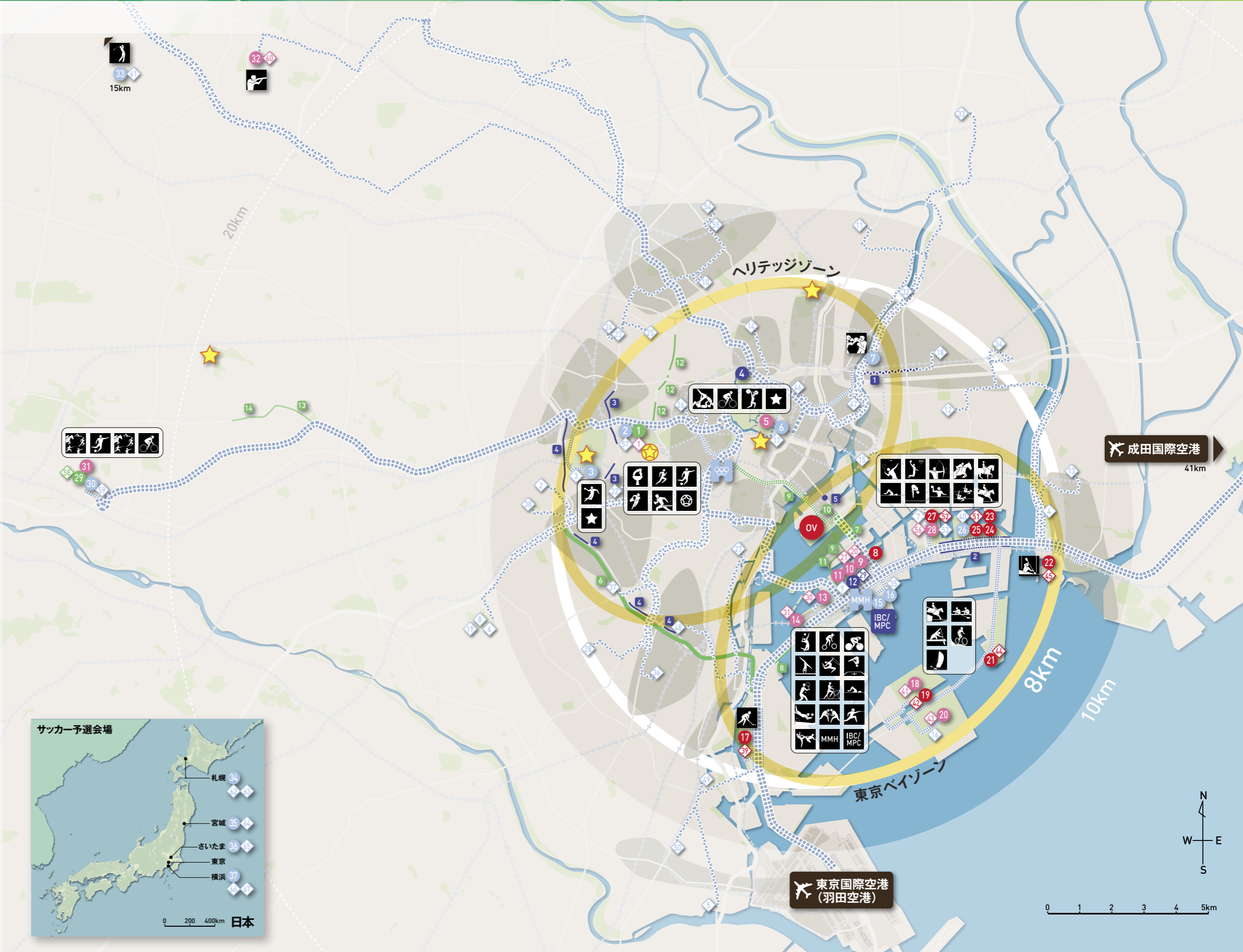
8.6 地図 B - 会場配置及び輸送インフラ地図

- ヘリテッジゾーン**
- 1 開閉会式
 - 2 卓球
 - 3 ハンドボール
 - 4 柔道
 - 5 自転車競技 (ロードレース スタート)
 - 6 ウェイトリフティング
 - 7 ボクシング
 - 8 陸上競技
 - 9
 - 10
 - 11
 - 12
 - 13
 - 14
 - 15
 - 16
 - 17
 - 18

- 東京ベイゾーン**
- 8 バレーボール
 - 9 自転車競技 (BMX)
 - 10 自転車競技 (トラックレース)
 - 11 体操 (体操)
 - 12 テニス
 - 13 トライアスロン
 - 14 水泳 (マラソン 10km)
 - 15 ビーチバレーボール
 - 16 レスリング
 - 17 フェンシング
 - 18 テコンドー
 - 19 ボート
 - 20 カヌー (スプリント)
 - 21 自転車競技 (マウンテンバイク)
 - 22 セーリング
 - 23 カヌー (スラローム)
 - 24 バドミントン
 - 25 バスケットボール
 - 26 アーチェリー
 - 27 馬術 (障害馬術)
 - 28 馬術 (馬場馬術)
 - 29 馬術 (総合馬術)
 - 30 水泳 (競泳)
 - 31 水泳 (飛込)
 - 32 水泳 (シンクロノイズドスイミング)
 - 33 水泳 (水球)

- その他**
- 29 近代五種 (フェンシング)
 - 30 サッカー
 - 31 近代五種 (水泳、馬術、ランニング、射撃)
 - 32 自転車競技 (ロードレース ゴール)
 - 33 射撃
 - 33 ゴルフ
 - 34 サッカー
 - 35 サッカー
 - 36 サッカー
 - 37 サッカー

- OV 選手村
- IOCホテル
- オリンピック・ホスピタリティ・サイト
- ライブサイト
- MMH 主要メディアホテル
- IBC/MPC 国際放送センター/メインプレスセンター
- 競技会場
- 練習会場
- ホテルプール
- 輸送 (表13.6)



- 道路**
- 高速道路
 - 主要幹線道路
- 鉄道**
- 郊外鉄道
 - 地下鉄
 - 中量軌道システム
- カラーコード**
- 既存 (改修工事なし)
 - 既存 (改修工事あり)
 - 計画
 - 新設 (大会開催のため)
 - 仮設

ヘリテッジゾーン



東京国際フォーラム

皇居外苑

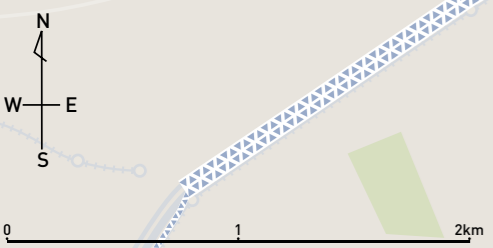
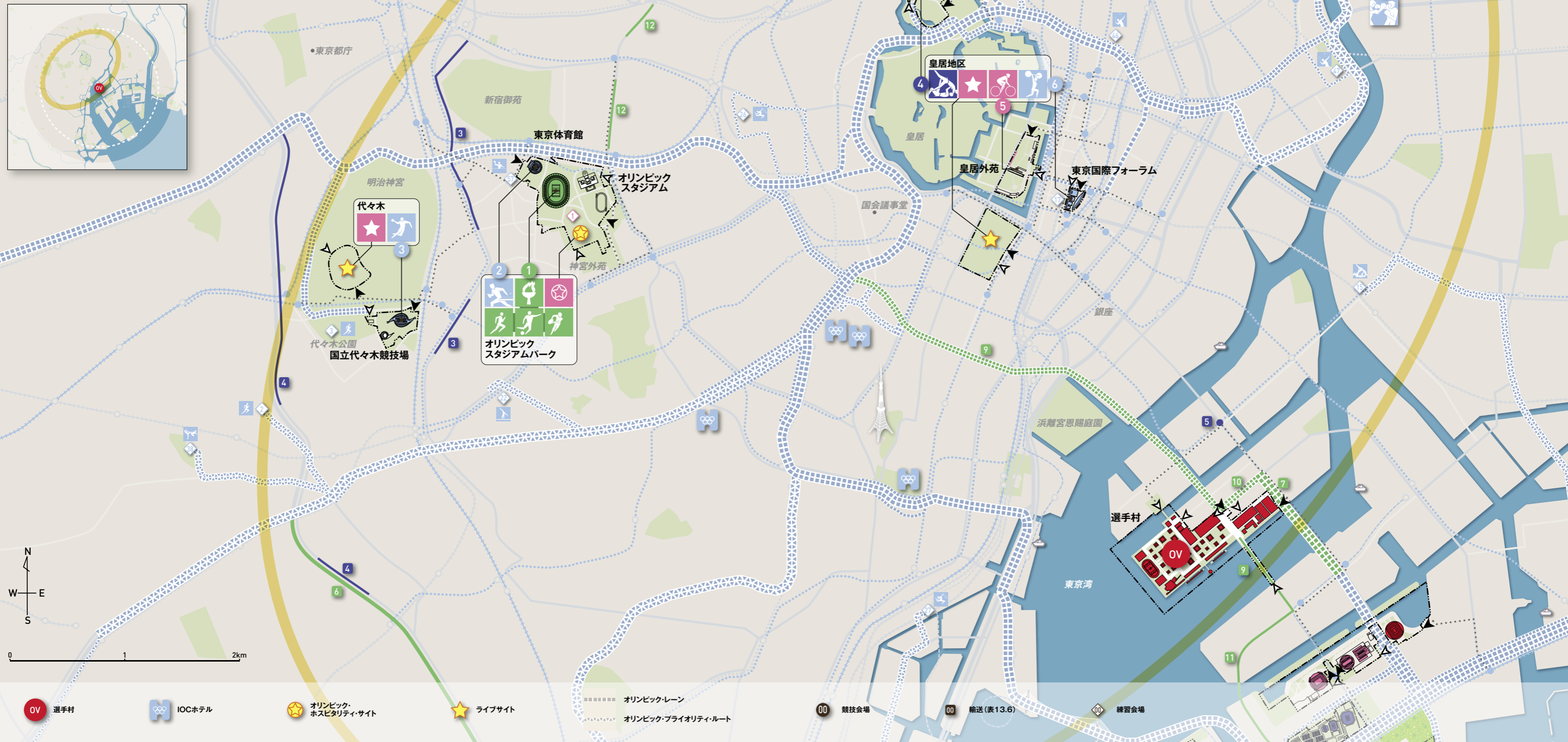
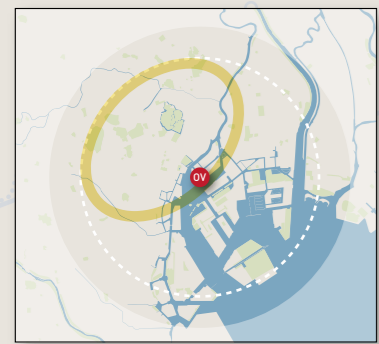
皇居地区

日本武道館

8.6 地図 B1 - ヘリテッジゾーン

インフラ	競技会場	高速道路	主要幹線道路	郊外鉄道	地下鉄	中量軌道システム
既存(改修工事なし)						
既存(改修工事あり)						
計画						
新設						
仮設						

観客入口		関係者入口	
セキュリティライン		歩行者ルート	
最寄り駅		最寄りバスターミナル	
		水上(海上)バス乗り場	



- 選手村
- IOCホテル
- オリンピック・ホスピタリティ・サイト
- ライブサイト
- オリンピック・レーン
- オリンピック・プライオリティ・ルート
- 競技会場
- 輸送(表13.6)
- 練習会場



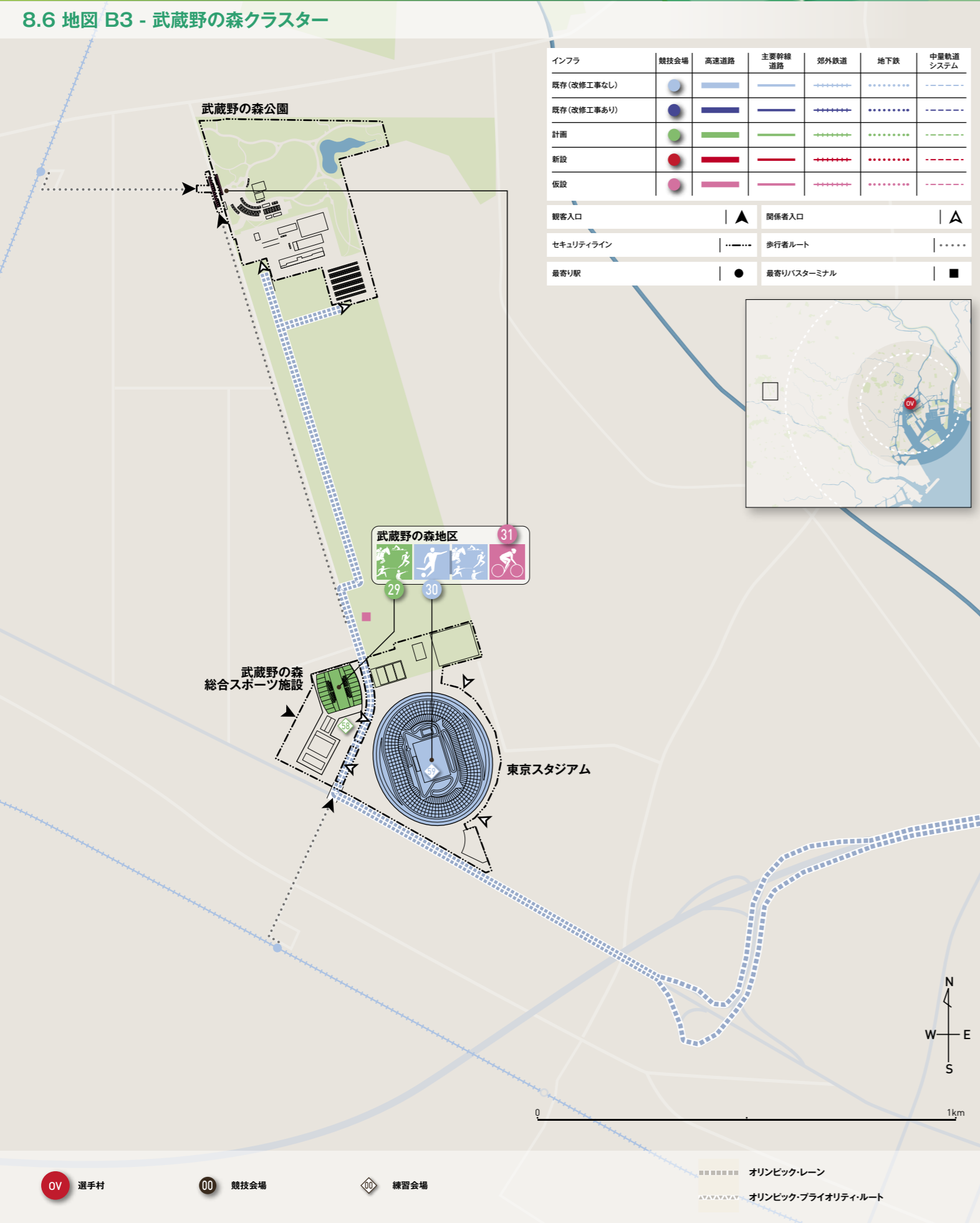
8.6 地図 B2 - 東京ベイゾーン



インフラ	競技会場	高速道路	主要幹線道路	郊外鉄道	地下鉄	中量軌道システム
既存 (改修工事なし)	●	—	—	—	—	—
既存 (改修工事あり)	●	—	—	—	—	—
計画	●	—	—	—	—	—
新設	●	—	—	—	—	—
仮設	●	—	—	—	—	—

観客入口	▲	関係者入口	▲
セキュリティライン	—	歩行者ルート	—
最寄り駅	●	最寄りバスターミナル	■
		水上 (海上) バス乗り場	☒

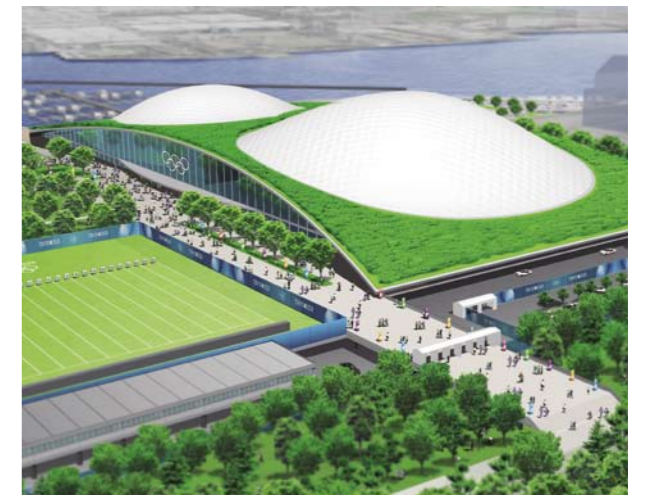
8.6 地図 B3 - 武蔵野の森クラスター



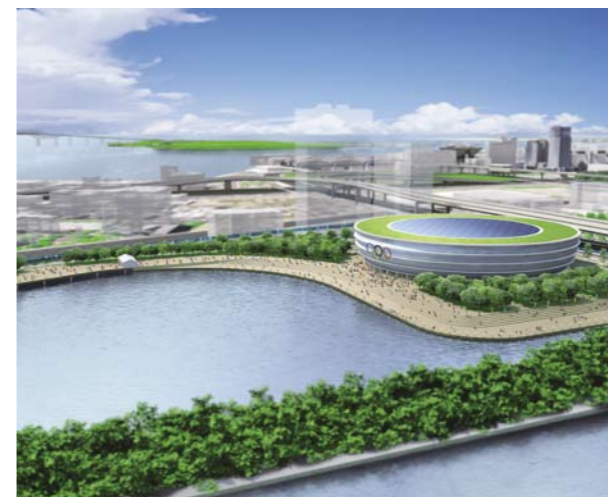
有明体操競技場



夢の島ユース・プラザ・アリーナ



有明アリーナ



8.7 会場の工事費

すべての競技会場、セレモニー会場、オリンピック選手村、メディア村及びIBCとMPCについて、表8.7に記入してください。
候補都市は、会場の建設状況について以下に従って明示する必要があります。

表 8.7 会場の工事費

競技/種別	会場	建設状況	当初竣工	改修	建設工事費										総額 (億円)	
					恒久工事					仮設/会場使用料						
					計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		計	大会組織委員会		その他 (具体的に)			
						億円	%	億円	%		億円	%	億円	%		
陸上競技	オリンピックスタジアム	計画	-	-	1,300	0	0	1,300	100	38	38	100	0	0	1,338	
サッカー																(独)日本スポーツ 振興センター)
ラグビー																
卓球	東京体育館	既存	1990.2	-	0	0	0	0	0	2	2	100	0	0	2	
ハンドボール	国立代々木競技場	既存	1964.9	2007.8	0	0	0	0	0	15	15	100	0	0	15	
柔道	日本武道館	既存(恒久工事あり)	1964.10	2001.3	39	0	0	39	100	4	4	100	0	0	43	
								(財)日本武道館)								
自転車競技	ロード・レース(スタート)	皇居外苑	-	-	0	0	0	0	0	6	6	100	0	0	6	
ウエイトリフティング	東京国際フォーラム	既存	1996.5	-	0	0	0	0	0	1	1	100	0	0	1	
ボクシング	国技館	既存	1985.1	-	0	0	0	0	0	4	4	100	0	0	4	
バレーボール	インドア	有明アリーナ	-	-	176	0	0	176	100	1	1	100	0	0	177	
								(東京都)								
自転車競技	BMX	有明BMXコース	-	-	0	0	0	0	0	65	65	100	0	0	65	
	トラック・レース	有明ベロドローム	-	-	0	0	0	0	0							
体操	有明体操競技場	仮設	-	-	0	0	0	0	0	89	89	100	0	0	89	
テニス	有明テニスの森	既存(恒久工事あり)	1987.4	-	59	0	0	59	100	5	5	100	0	0	64	
								(東京都)								
トライアスロン	お台場海浜公園	仮設	-	-	0	0	0	0	0	15	15	100	0	0	15	
水泳	マラソン 10km															
バレーボール	ビーチバレーボール	潮風公園	-	-	0	0	0	0	0	12	12	100	0	0	12	
レスリング	東京ビッグサイト・ホールA	既存	1996.4	-	0	0	0	0	0	26	26	100	0	0	26	
フェンシング	東京ビッグサイト・ホールB	既存	1996.4	-	0	0	0	0	0							
テコンドー																
ホッケー	大井ホッケー競技場	新規	-	-	25	0	0	25	100	21	21	100	0	0	46	
								(東京都)								
馬術	総合馬術(クロスカントリー)	海の森クロスカントリーコース	-	-	0	0	0	0	100	20	20	100	0	0	20	
ボート	海の森水上競技場	新規	-	-	69	0	0	69	100	20	20	100	0	0	89	
カヌー	スプリント															

表 8.7 会場の工事費

競技/種別	会場	建設状況	当初竣工	改修		建設工事費										総額 (億円)
						恒久工事					仮設/会場使用料					
						計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		計	大会組織委員会		その他 (具体的に)		
							億円	%	億円	%		億円	%	億円	%	
自転車競技	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	仮設	-	-	0	0	0	0	100	13	13	100	0	0	13
セーリング		若洲オリンピックマリナー	新規	-	-	92	0	0	92	100	8	8	100	0	0	100
									(東京都)							
カヌー	スラローム	葛西臨海公園	新規	-	-	24	0	0	24	100	8	8	100	0	0	32
									(東京都)							
バドミントン		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新規	-	-	364	0	0	364	100	5	5	100	0	0	369
バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB	新規	-	-											
アーチェリー		夢の島公園	新規	-	-	14	0	0	14	100	14	14	100	0	0	28
									(東京都)							
馬術	障害馬術、馬場馬術、総合馬術	夢の島競技場	既存	1995.7	-	0	0	0	0	0	35	35	100	0	0	35
水泳	競泳、飛込、 シンクロナイズドスイミング	オリンピックアクアティクスセンター	新規	-	-	321	0	0	321	100	76	76	100	0	0	397
	水球	ウォーターポロアリーナ	仮設	-	-											
近代五種	フェンシング	武蔵野の森総合スポーツ施設	計画	-	-	250	0	0	250	100	6	6	100	0	0	256
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	既存	2000.10	-	0	0	0	0	0						
サッカー																
自転車競技	ロード・レース(ゴール)	武蔵野の森公園	仮設	-	-	0	0	0	0	0	13	13	100	0	0	13
射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	-	-	0	0	0	0	0	44	44	100	0	0	44
ゴルフ		霞ヶ関カンツリー倶楽部	既存	1929.10	1992.8	0	0	0	0	0	9	9	100	0	0	9
サッカー		札幌ドーム	既存	2001.5	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		宮城スタジアム	既存	2000.3	2012.7	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		埼玉スタジアム2002	既存	2001.7	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
		横浜国際総合競技場	既存	1997.10	-	0	0	0	0	0	3	3	100	0	0	3
-		選手村	新規	-	-	954	0	0	954	100	103	103	100	0	0	1,057
									(民間)*							
-		IBC/MPC	既存(恒久工事あり)	1996.4	-	144	0	0	144	100	33	33	100	0	0	177
									(東京都)							

※今後、計画策定の進捗に応じて、内容調整の可能性がある。
* 詳細は10.5を参照

合計: 3,831 0 3,831 723 723 0 4,554

8.8 会場の用途

各競技会場及び練習会場について、表8.8に、以下の情報を記入してください。

各練習会場については表8.8 b)を利用して、エクセル形式の表で必ずCD-ROMにて提出してください。

表 8.8a - 競技会場の用途と所有者

競技会場		用途		所有者		管理者		会場保証書		IF同意			
競技/種別/種目 (イベント数)	種目数	会場名 (既存/新設)	現状	大会後	現在	大会後	現在	大会後	会場使用	商業権	IF名	既	未
ヘリテッジゾーン													
陸上競技、サッカー、ラグビー	47	オリンピックスタジアム(新設)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	IAAF FIFA IRB	✓	✓
卓球	4	東京体育館(既存)	スポーツアリーナ	スポーツアリーナ	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITTF	✓	
ハンドボール	2	国立代々木競技場(既存)	スポーツアリーナ	スポーツアリーナ	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	(独)日本スポーツ振興センター	IHF	✓	
柔道	14	日本武道館(既存)	武道場	武道場	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	(財)日本武道館	IJF	✓	
自転車競技(ロードレーススタート)	2	皇居外苑(新設)	公共公園	公共公園	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	UCI	✓	
ウエイトリフティング	15	東京国際フォーラム(既存)	多目的会議場	多目的会議場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	IWF	✓	
ボクシング	13	国技館(既存)	相撲場	相撲場	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	(財)日本相撲協会	AIBA	✓	
東京ベイゾーン													
バレーボール	2	有明アリーナ(新設)	-	スポーツアリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIVB	✓	
自転車競技(BMX)	2	有明BMXコース(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
自転車競技(トラック・レース)	10	有明ペドロローム(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
体操	18	有明体操競技場(新設)	開発用地	開発用地	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIG	✓	
テニス	5	有明テニスの森(既存)	テニスコート	テニスコート	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITF	✓	
トライアスロン水泳(マラソン10km)	2	お台場海浜公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	ITU FINA	✓	
ビーチバレーボール	2	潮風公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIVB	✓	
レスリング	18	東京ビッグサイト・ホールA(既存)	展示会場	展示会場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FILA	✓	
フェンシング、テコンドー	10	東京ビッグサイト・ホールB(既存)	展示会場	展示会場	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIE WTF	✓	
ホッケー	2	大井ホッケー競技場(新設)	-	スポーツセンター	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIH	✓	
馬術(クロスカントリー)	-	海の森クロスカントリーコース(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FEI	✓	
ボート、カヌー(スプリント)	14	海の森水上競技場(新設)	-	ボート、カヌー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FISA ICF	✓	

表 8.8a - 競技会場の用途と所有者

競技会場		用途		所有者		管理者		会場保証書		IF同意			
競技/種別/種目 (イベント数)	種目数	会場名 (既存/新設)	現状	大会後	現在	大会後	現在	大会後	会場使用	商業権	IF名	既	未
自転車競技(マウンテンバイク)	2	海の森マウンテンバイクコース(新設)	開発用地	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
セーリング	10	若洲オリンピックマリーナ(新設)	-	マリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	ISAF	✓	
カヌー(スラローム)	4	葛西臨海公園(新設)	-	カヌー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	ICF	✓	
バドミントン	5	夢の島ユース・プラザ・アリーナA(新設)	-	多目的アリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	BWF	✓	
バスケットボール	2	夢の島ユース・プラザ・アリーナB(新設)	-	多目的アリーナ	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FIBA	✓	
アーチェリー	4	夢の島公園(新設)	-	アーチェリー場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	WA	✓	
馬術(馬場馬術、障害馬術、総合馬術)	6	夢の島競技場(既存)	スポーツセンター	スポーツセンター	江東区	江東区	江東区	江東区	江東区	江東区	FEI	✓	
水泳(競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング)	42	オリンピックアクアティクスセンター(新設)	-	水泳場	-	東京都	-	東京都	東京都	東京都	FINA	✓	
水泳(水球)	2	ウォーターポロアリーナ(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FINA	✓	
その他													
近代五種(フェンシング)	-	武蔵野の森総合スポーツ施設(新設)	多目的スタジアム	多目的アリーナ	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UIPM	✓	
サッカー、近代五種(水泳、馬術、ランニング、射撃)	-	東京スタジアム(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	FIFA UIPM	✓	
自転車競技(ロードレースゴール)	2	武蔵野の森公園(新設)	公共公園	公共公園	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	東京都	UCI	✓	
射撃	15	陸上自衛隊朝霞訓練場(新設)	陸上自衛隊訓練場	陸上自衛隊訓練場	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	日本国政府	ISSF	✓	
ゴルフ	2	霞ヶ関カンツリー倶楽部(既存)	ゴルフ場	ゴルフ場	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	(社)霞ヶ関カンツリー倶楽部	IGF	✓	
サッカー	-	札幌ドーム(既存)	多目的ドーム	多目的ドーム	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	札幌市	FIFA	✓	
サッカー	-	宮城スタジアム(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	FIFA	✓	
サッカー	-	埼玉スタジアム2002(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県	FIFA	✓	
サッカー	1	横浜国際総合競技場(既存)	多目的スタジアム	多目的スタジアム	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	横浜市	FIFA	✓	

表8.8b CD-ROM 表8.8bを参照

8.9 会場のレガシー利用

建設予定の新規会場(もしあれば、移転予定の会場も含む)については、以下の点を詳細に説明してください。

- ・大会後の会場の利用予定及び長期持続可能なビジネスプラン
- ・大会後の会場運営及び管理責任を有する大会後所有者

レガシー利用

総数37を予定する競技会場のうち、22会場(59%)が2020年東京大会のために建設予定であり、そのうち11会場が恒久施設の予定である。その恒久施設のうち2会場は2020年大会の招致結果に関係なく計画が進められている。残り11会場は仮設施設または移設可能施設である。

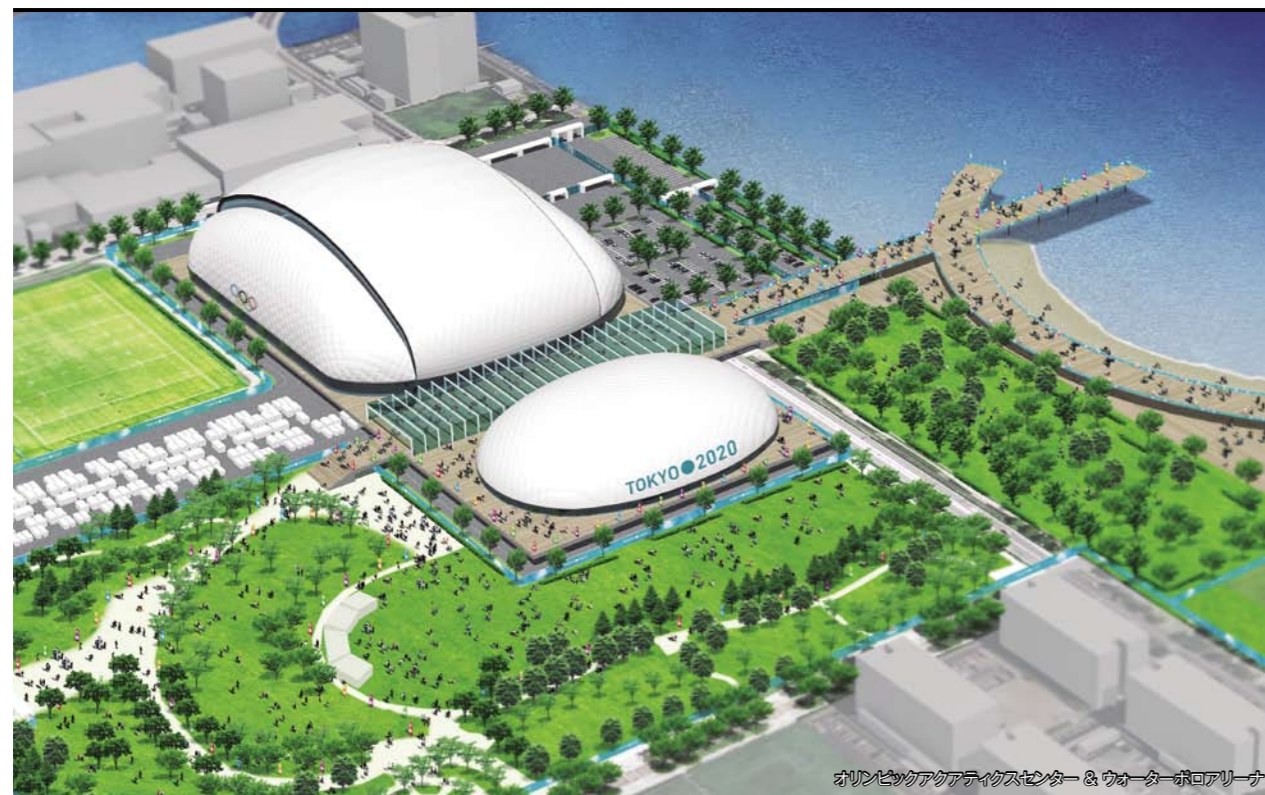
2020年大会で使用予定の2つの恒久施設は次の通りである。

- ・国立霞ヶ丘競技場は、1964年大会のオリンピックスタジアムであり、テストイベントが行われる2019年までに最新鋭の競技場に生まれ変わる予定である。2020年大会では、開・閉会式、陸上競技、サッカー、ラグビーの会場となる。この8万人収容のスタジアムは日本スポーツ振興センターが所有し、ラグビー、サッカーの国際試合や陸上競技の日本選手権など文化・スポーツ関連イベントに使用される予定である。神宮エリア内に位置し、4大クラスターのひとつとして「2020年の東京」をもとに誰もがスポーツを楽しめる社会づくりを目指す。
- ・武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に計画中の施設であり、「2020年の東京」の中で4大クラスターのひとつに位置づけられ、2016年に完成予定である。2020年大会では、体育館が近代五種の会場となり、東京に大いなるスポーツ・レガシーをもたらす。東京都が所有し、多摩地域のスポーツ振興の拠点として、地域スポーツから競技スポーツまで、幅広いイベントに使用されるほか、コンサートなどの文化イベントにも使用される。

東京が2020年大会の開催都市となった場合、建設予定の残り9つの恒久施設は次の通りである。

- ・オリンピックアクアティクスセンターは、競泳・飛込・シンクロナイズドスイミングの会場となり、大会後は、収容可能人数を2万人から5000人に縮小して、利用しやすい規模の水泳場に改修する。大会後は、東京都が所有し、既存の辰巳国際水泳場同様、水泳各種別の都内選手権、日本選手権からジャパンオープン等の国際大会で使用するとともに、住民も使える水泳場となる。
- ・有明アリーナは、バレーボールの会場となり、大会後は、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模体育館となる。大会後は、注目を集めるバレーボールの国内リーグの会場となるほか、東京が、これまで多数開催してきたような、国際大会の際も使用される。東京都が所有するこのアリーナは、「2020年の東京」で臨海部の一部に含まれ、そのエリア内に有明テニスの森、オリンピックアクアティクスセンターに隣接する東京辰巳国際水泳場がある。会場の整備は臨海部の開発と並行して行われる。
- ・ユース・プラザ・アリーナAとBは、地域レベルの競技大会が行われる小規模な現ユースプラザを改修し、バドミントンとバスケットボールの会場となる。大会後は、東京都が所有し、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模総合体育館となる。大規模アリーナを二つ有する施設の特性を活かし、人気の高まっているバスケットボール、バドミントンなど室内競技の国内・国際大会も開催可能となる。また東京湾エリアの開発に合わせた臨海部に連なる競技会場の一部となる。
- ・夢の島公園は、アーチェリーの会場となり、大会後は、周辺の緑地を取り込み、国内及び国際競技大会が開催できるアーチェリー場が残る。大会後は、東京都が所有し、学生選手権、日本選手権などの会場となるほか、都内のアーチャーの日常的な活動拠点となる。レガシーとなる会場のひとつであり、臨海部に連なる競技会場の一角を占めている。

大会期間



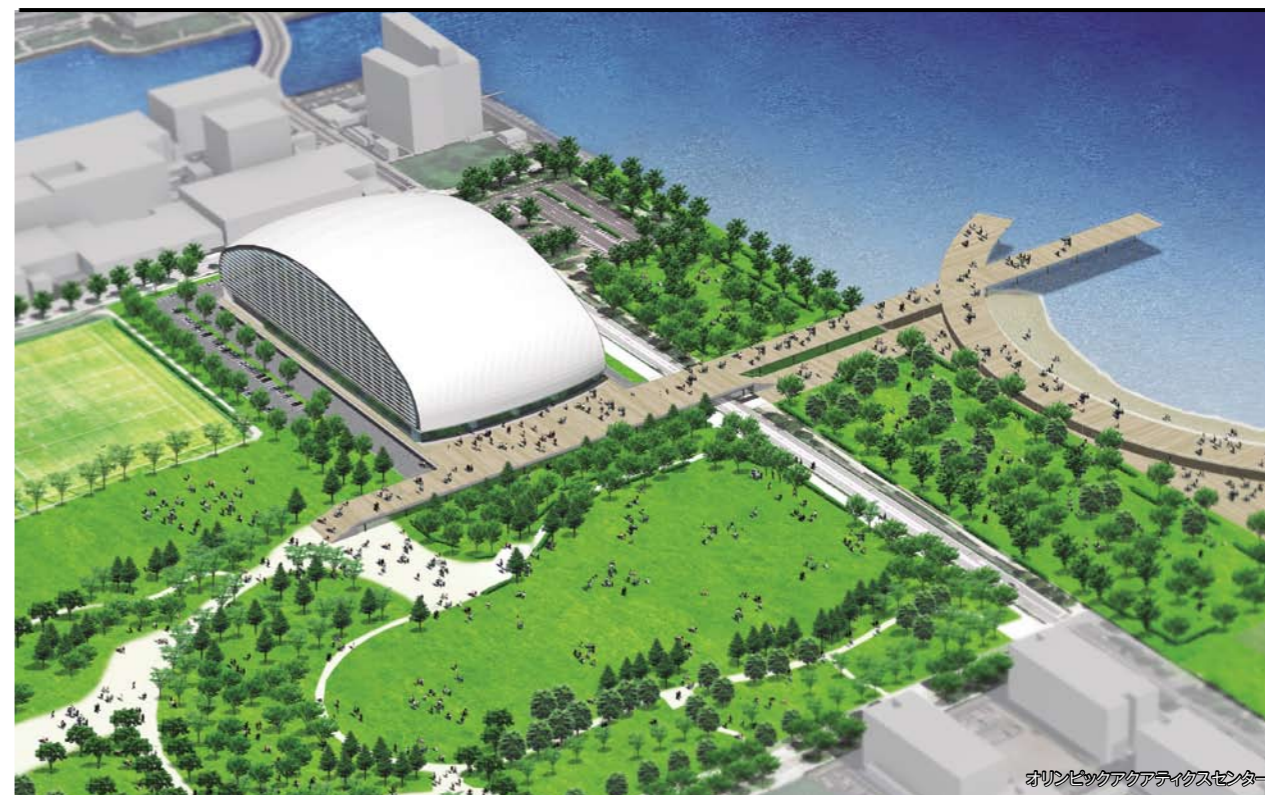
オリンピックアクアティクスセンター & ウォーターポロアリーナ

- ・海の森水上競技場は、ボート、カヌー(スプリント)の会場となり、将来、都民のレクリエーションの場、憩いの場にもなる。大会後は、東京都が所有する。東京ゲートブリッジが新設され、水辺の空間として都民に親しまれる場となる。2016年までに概成予定の海の森は、東京都が掲げる持続可能な緑化活動のシンボルである。
- ・若洲オリンピックマリナーは、日本有数のセーリング会場となる。大会後は、東京都が所有し、東京のみならず首都圏広域のセーリング競技の普及の拠点となる。
- ・カヌー(スラローム)の会場となる葛西スラロームコースは、年間来場者300万人を越える葛西臨海公園の中にあり、大会後は、カヌー競技のほか、ラフティングなどのレクリエーションにも使える施設が残る。東京都が所有し、広く地域の人々が、水辺に親しめる施設となる。
- ・1万人収容可能な大井サッカー競技場は、大井ふ頭中央海浜公園に新設予定であり、大会後は、4000人規模のサッカー場に改修される。大会後は、東京都が所有し、国内及び国際競技大会が開催できるサッカー場として、国内のサッカー普及、強化の拠点となる。

これら施設の大会後の用途については、国内の各競技団体と緊密に協力して決定する。

2020年大会のために仮設される残りの11会場については、再利用しやすいまたは移設しやすい建設方法を最大限採用する。また公共施設(国内の小中学校など)での再利用が見込める競技施設・競技インフラについては、移設の検討をおこなう。移設の有力候補は近代五種の仮設プールと有明ペドロームである。

大会終了後



オリンピックアクアティクスセンター

8.10 公共機関の所有する会場

国家の諸機関が所有する競技会場及び競技会場以外の施設を、無償又は(IOCにより事前承認された)賃貸料にてOCOGが使用できるかどうか明記して、それぞれの機関からの保証書を提出してください。

公共機関が所有する競技会場

国及び地方自治体が所有する競技会場及び非競技会場については、無償又はIOCに事前承認された賃貸料等で大会組織委員会が使用できる旨、施設管理者と合意し、保証書の提出を得た。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

8.11 配置図

配置図を提出してください。

CD-ROM 配置図を参照

8.12 会場開発

会場開発の責任者は誰ですか。新規会場の開発及び建設に責任を持つ会場担当当局を設置する計画がありますか。計画がある場合、その組織の名称及び内容を記入してください。

表 8.12 会場整備に係る責任とスケジュール

競技/種別	会場名	会場建設状況	オリンピックプロジェクトのために既に確保した土地の%	土地の集約(必要に応じて)	建設を認可する責任主体	恒久工事を発注する責任主体	オーバーレイ工事を発注する責任主体	建設スケジュール			OCOGへの会場引渡し日	
								恒久工事				
								開始日	完了日	継続期間		
アーチェリー	夢の島公園	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2018/6	2019/5	330	2020/7	
陸上競技	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
水泳	競泳、飛込、シンクロナイスドスイミング	オリンピックアクアティクスセンター	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/10	2019/5	930	2020/7
	水球	ウォーターポロアリーナ	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	マラソン10km	お台場海浜公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
バドミントン	夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/10	2019/5	930	2020/7	
バスケットボール	夢の島ユース・プラザ・アリーナB	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会					
ボクシング	国技館	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
カヌー	スプリント	海の森水上競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/6	2019/5	1,050	2020/7
	スラローム	葛西臨海公園	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7
自転車競技	トラック・レース	有明ペドローム	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	ロード・レース(スタート)	皇居外苑	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	ロード・レース(ゴール)	武蔵野の森公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	BMX	有明BMXコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
馬術	障害馬術、馬場馬術、総合馬術	夢の島競技場	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
	総合馬術(クロスカントリー)	海の森クロスカントリーコース	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
フェンシング	東京ビッグサイト・ホールB	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
サッカー	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
	東京スタジアム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	札幌ドーム	既存	100%	不要	札幌市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	宮城スタジアム	既存	100%	不要	宮城県	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	埼玉スタジアム2002	既存	100%	不要	さいたま市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	横浜国際総合競技場	既存	100%	不要	横浜市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	

表 8.12 会場整備に係る責任とスケジュール

競技/種別	会場名	会場建設状況	オリンピックプロジェクトのために既に確保した土地の%	土地の集約(必要に応じて)	建設を認可する責任主体	恒久工事を発注する責任主体	オーバーレイ工事を発注する責任主体	建設スケジュール			OCOGへの会場引渡し日	
								恒久工事				
								開始日	完了日	継続期間		
体操	有明体操競技場	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ゴルフ	霞ヶ関カントリー倶楽部	既存	100%	不要	川崎市	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ハンドボール	国立代々木競技場	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
ホッケー	大井ホッケー競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
柔道	日本武道館	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	(財)日本武道館	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
近代五種	フェンシング	武蔵の森総合スポーツ施設	計画	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2013/11	2016/10	1,050	2020/7
	水泳、馬術、ランニング、射撃	東京スタジアム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
ボート	海の森水上競技場	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/6	2019/5	1,050	2020/7	
ラグビー	オリンピックスタジアム	計画	100%	不要	東京都	(独)日本スポーツ振興センター	組織委員会	2015/10	2019/3	1,230	2020/7	
セーリング	若洲オリンピックマリーナ	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2015/12	2018/5	870	2020/7	
射撃	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
卓球	東京体育館	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
テコンドー	東京ビッグサイト・ホールB	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
テニス	有明テニスの森	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2017/12	2019/5	510	2020/7	
トライアスロン	お台場海浜公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
バレーボール	インドア	有明アリーナ	新設	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	2016/12	2019/5	870	2020/7
	ビーチバレーボール	潮風公園	仮設	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7
ウエイトリフティング	東京国際フォーラム	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
レスリング	東京ビッグサイト・ホールA	既存	100%	不要	東京都	-	組織委員会	-	-	-	2020/7	
	選手村	新設	100%	不要	東京都	民間事業者	組織委員会	2016/6	2019/6	1,080	2020/5	
	IBC	既存(改修工事あり)	100%	不要	東京都	東京都	組織委員会	-	-	-	2019/7	
	MPC							2018/1	2019/12	690	2020/1	

8.13 土地買収
 オリンピックプロジェクトのためにすでに確保した土地のパーセンテージを会場ごとに表8.12に記入してください。
 オリンピックプロジェクトのため、さらに土地の買収が必要な場合、土地買収のプロセスとスケジュール及び関連する法的要件があればそれも合わせて説明してください。

オリンピックプロジェクトのための土地は全て確保しており、買収は不要。

8.14 設計プロセス及び建設規定
 各会場施設の建設プロセスを管理する組織(例: OCOG、政府機関など)ごとに、設計の主要段階、期限、抗議/要請手続き、環境影響評価などの設計プロセス、及び外国企業の入札参加の可能性に関する詳細などの入札プロセスについて、説明してください。

大会のための設計プロセスと入札プロセス

表8.12に概説したように仮設会場及びオーバーレイ工事を除いた会場施設の計画、設計、入札、工事の管理は、表8.12の恒久工事を発注する責任主体がそれぞれ実施する。計画、設計にあたっては、これまでの開催都市の経験を踏まえ、オリンピックの専門家を係らせながら進めていく。東京都では、既定の契約事務規則及びWTO政府調達協定等に則り、適切な入札を実施する。

大会組織委員会の会場整備部は、東京都等の恒久工事を発注する責任主体と緊密に連携して2020年大会のための会場の条件整備、入札方針の検討、設計コンセプトの検討、進捗状況の把握、IOCへの報告を行う。また、仮設会場及びオーバーレイ工事の計画、設計、入札、工事の管理を行い、2020年大会後に仮設を撤去する。

会場の用地は既に確保されており、東京が開催地として選ばれた場合は、直ちに準備し、着工する。建設プロジェクトは以下の所定の入札

手順を経て開始される。非常に合理的なプロセス及び体制に則って進められるため、すべての会場はテストイベントまでに完成する。また、恒久施設については2020年大会後、必要に応じ、レガシーとしての利用を見据えた改修を行う。

詳細な日程表による厳密な管理

会場ごとに詳細な日程表を作成し、進行管理を徹底する。日本の建設プロジェクトは、質の高さと期日の厳守で知られており、競技会場がスケジュールどおりに完成されることは確実である。

原則的な入札手順

恒久工事を発注する責任主体及び大会組織委員会は、次の原則のもとに入札を実施する。

- ・ 透明性の確保
- ・ 公正な競争の促進
- ・ 適正な施工の確保
- ・ 不正行為の排除の徹底

入札手続きの3つの主要な段階は以下のとおりである。

- ・ **公表**
 件名その他の入札条件をインターネット等により公表し、入札参加者を公募する。このことにより、入札者に均等な入札機会が与えられ、公正な競争状態が確保される。
- ・ **応募受付**
 入札参加を希望する事業者から応募を受け付ける。審査の後、承認された入札者名簿を公開する。
- ・ **入札・選定**
 入札参加者が入札した後、開札し、技術、環境、財政的観点から評価した上で、最も評価の高い入札者を選定する。

オープンな抗議・要請手続き

入札手順は、公正性、透明性が高いため、訴訟が提起される例はほとんどない。

入札者等の利害関係者は、入札の過程等に不服があるときは、契約担当者に説明を求め、その説明に納得しがたいときは、第三者機関に苦情の申立てができる。あるいは、利害関係者は直接、裁判所に訴訟を提起することも可能である。

環境影響評価

東京都内で、一定規模の建設その他の事業に関する計画策定や事業を行う者は、東京都環境影響評価条例に基づき環境影響評価を実施しなければならない。

外国企業からの入札参加を歓迎

国の内外を問わず、どの企業でも建設業法に基づく許可を受ければ、入札に参加することができる。外国企業が入札に参加することに対して障壁はなく、特に特定の競技及び会場に関する専門知識をもつ企業の参加が奨励される。

日本の法規に準拠した契約

日本におけるすべての契約は民法等の定めに基づいて行われる。関係方には、透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、不正行為の排除の徹底が基本である旨が明確に規定されている。

8.15 建設に関する報告、監視、全体のコーディネーション
 会場及びインフラの物理的完成の進行度をどのようにIOCに一括報告し、誰が担当しますか(関与する複数の設計・建築コンサルタント団体を調整にあたる担当者)。

月例報告と監視

大会組織委員会は、恒久工事を発注する責任主体によって管理される会場を含め、全体の進捗状況に関する最新情報を確実に把握するとともに、必要な調整を行う。大会組織委員会は、IOCに対して月例報告を行い、ウェブサイト上で適時に情報及び画像を更新する。

8.16 会場使用日程
 会場ごとに、当該会場で行われる競技の日程に基づいた使用日及び使用時間を、表8.16に記入してください。
 複数の競技に使用される会場については、競技名を記入するとともに競技ごとに使用日を記入し、どのようにして複数の競技に会場を使用するかについても示してください。
 表は、エクセル形式で必ずCD-ROMにて提出してください。

CD-ROM 表8.16を参照



有明テニスの森



電力

8.17 負荷及び信頼性の観点から見て、既存の配電システムで、想定されるオリンピック競技大会の需要を満たすことは可能ですか。

- ・可能でない場合、大会開催期間中を含め、大会開催までに、発電・送電・配電設備が必要とされる改善／さらなる開発について説明してください。
- ・各プロジェクトの完成日を示し、資金調達の方法や、必要となる国や地方の機関の助成金について説明してください。

既存の電力供給能力

東京では、既存の配電システムで、2020年東京大会で発生する追加需要に対し、対応することができる。

東京都内の電力は、主に、世界最大規模の民間電気事業者の一つである、東京電力株式会社により供給されている。東京電力株式会社の電力供給力は、東京都を含めた東京電力管内において、2011年3月のピーク時で、東日本大震災直前には5,200万kWであったが、震災直後には原子力発電所と火力発電所が停止したことにより3,100万kWに減少した。しかし、2012年7月には、火力発電所の復旧や新たな電源設備の設置などにより5,786万kWまで回復している。

その結果、2012年7月～8月の最大電力需要が5,078万kWであったため、708万kWの予備力があり、2020年東京大会で発生する追加需要に対して、既に十分に対応可能な状況にある。

既存の発電設備

東京都内において、東京電力株式会社が所有している発電設備は、現在、次の15箇所である。

- ・石油火力発電所 : 1箇所
- ・都市ガス火力発電所 : 1箇所
- ・内燃力発電所 : 10箇所
- ・地熱発電所 : 1箇所
- ・水力発電所 : 1箇所
- ・風力発電所 : 1箇所

東京都内において、東京電力株式会社が所有している原子力発電所は存在しない。

また、東京電力管内では、さらなる安定的な電力供給を図るために下記の対策が講じられ、電力供給能力が2020年東京大会までに増強される。

- ・2012年7月25日に、東京電力株式会社が提出した「資源生産性革新計画」が国に認定された。この計画を基に試算すると、2015年までに、既存の火力発電所の増強や、火力発電所の新設により、約304万kWの電力供給（うち、210万kWは、既に概ね整備完了で、2013年に稼働予定）が増加することになっている。これらの火力発電所の増強・新設は、国の支援を受けて実施される。また、東京都も、「2020年の東京」により、新たな東京産電力として大規模出力の発電所の建設を検討している。
- ・東京電力管内では、東京電力の他にも、近年の電力事業の自由化などの法改正等により、東京ガスグループが、全部で198万kWの天然ガス発電所を建設・保有するなど、新たな電力供給も進んでいる。
- ・東京電力管内は、管内の発電所のみでなく、東京電力管内と中部電力管内を結ぶ電力の地域連系線について、国により、2020年を目標に、現状の104万kWを210万kWに増強するなど、地域間相互に融通できる電力も増加する。こうした措置により電力供給能力をより臨機応変に利用することが可能となる。
- ・日本国政府のもとに設置された「エネルギー・環境会議」が、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、2012年9月14日に国家の新しいエネルギー戦略である「革新的エネルギー・環境戦略」を決定したが、その中においても、「低廉で安定的な電力供給を実現する」ということが記載されている。

- ・日本国政府は、今後のエネルギー・環境政策については、「革新的エネルギー・環境戦略」を踏まえて、関係自治体や国際社会等と責任のある議論を行い、国民の理解を得つつ、柔軟性を持って不断の検証と見直しを行いながら遂行することを、平成24年9月19日に閣議決定した。

既存の送電設備

東京の電力は、首都圏の500キロボルトの送電系統から供給されている。特に都心の電力は、首都圏近郊に点在する500キロボルトの変電所で275キロボルトに変圧され、多方面から供給されている。

都心の電力系統は、275キロボルト地中送電線が相互に連系できるよう構成されている。仮に、都心で緊急事態が発生しても、この連系機能を活用し、他の500キロボルト変電所から受電できるように送電ネットワークが形成されている。

都心では、既に世界初の500キロボルト地下変電所が稼働しており、高い供給信頼性を確保している。また、500キロボルトの地中送電線が既に敷設されており、各会場の集中的な電力需要にも十分対応することができる。

東京の電力供給システムは、冗長化構成を採用しており、世界最高水準の供給信頼性を確保しているとともに、全ての主要な電力施設には、物理的なセキュリティ対策が施されている。

なお、東京電力株式会社の保有する送電線の長さは、約2万kmである。

既存の配電設備

送電線から供給される電力は、中間変電所や配電用変電所を経て、配電線や引込線により、各施設に供給される。

東京電力株式会社が保有する配電線の長さは、約37万kmである。

図 8.17.1 東京電力管内の電力の安定供給確保

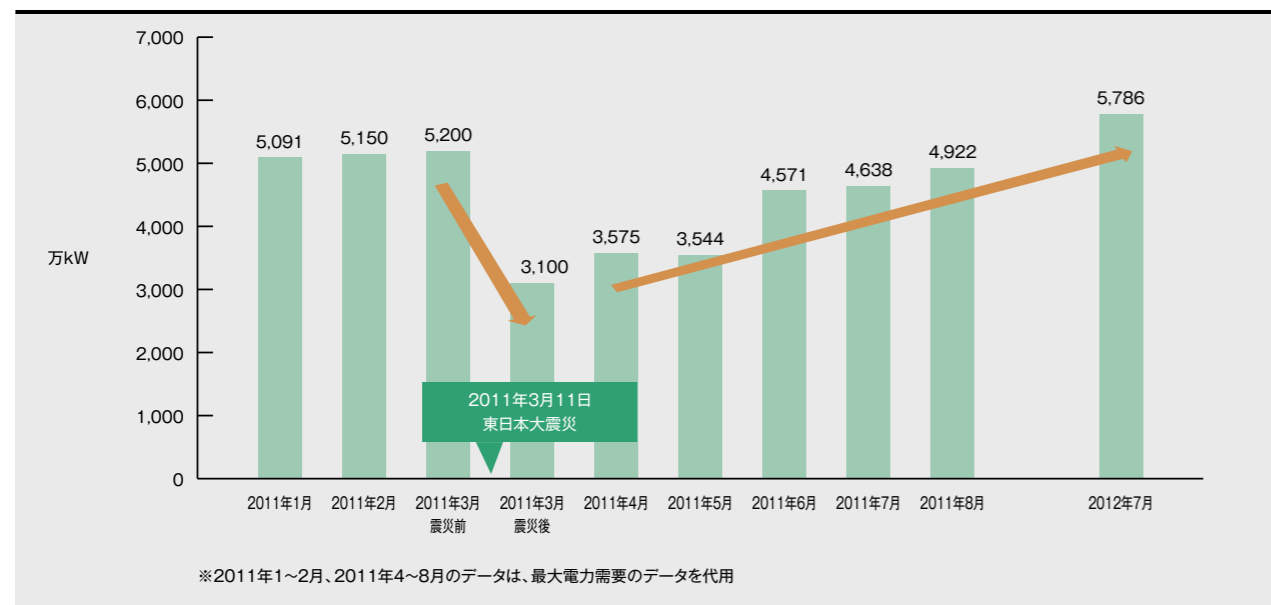
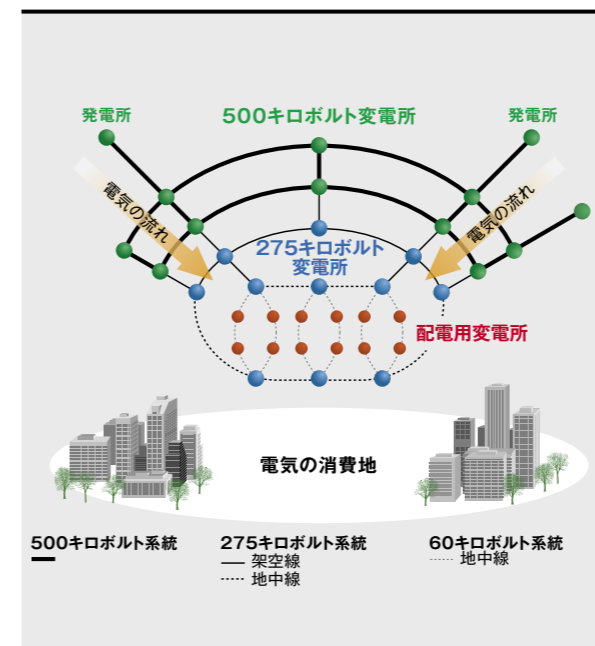


図 8.17.2 東京電力の電力系統



出典：東京電力株式会社資料

8.18 オリンピック会場の特別な電力需要を満たすと想定している、仮設の電力設備のレベルを示してください。

東京にある既存の電力網で2020年東京大会の電力需要にも十分に対応可能である。

さらに、IOCの要請に応えるため、2020年東京大会では、オリンピック放送サービス(OBS)、テクノロジー・システム、競技領域(FOP)照明や、タイム・スコア管理システム、オリンピック会場結果表示などイベントに欠かせない技術サービスに加え、セキュリティ・センター、アクセデーション・センター、コミュニケーション・センターなど重要機能エリア向けに、全ての競技会場に仮設の自家発電設備を設置する。これらの仮設の自家発電設備は、ツイン・バック・テクノロジーを搭載したもので、そのほぼ半数がIBC/MPCに設置され、通常は予備電源として稼働する。

会場によって必要な場合(仮設施設や開会式など特定イベント)には、イベントまたは競技実施期間中、仮設の自家発電設備を主電源として稼働させ、通常の系統電力と同時に使用することができる。

2020年東京大会はIOCのスポンサーとも密に連携し、オリンピック大会期間中のエネルギー供給態勢の一環として無停電電源装置(UPS)の稼働を行なう。無停電電源装置は、二重電力回線の切替え、系統電力のシステムダウンや、予備発電装置への切替え失敗などを原因とした短時間の停電が発生した場合にバックアップする。無停電電源装置は、主としてテクノロジー・システム、タイム・スコア管理システム、放送設備で使用される。

これらの電力供給施設には、信頼できる無停電電源装置を必ず設置する。

8.19 高品質でフィルタリングされた電力を、大会関連施設の特殊装置に供給できるようにするために、どのような計画がありますか。

特殊装置への確実な電力供給

日本の電気事業者から供給される電力の品質は、国が定める各種法令(電気事業法等)及びガイドラインで規定されている。これらの法令、ガイドライン等では、高品質な電力を供給する上で課題とされる、高調波、電圧変動等に関する技術的要件が定められており、それは国際的に最も高い水準にある。

電気事業者は、国の厳しい基準に基づく自社のガイドラインを作成して運用しており、大会の全ての会場に高品質かつ信頼性の高い電力を供給することが可能である。

放送機器やタイム・記録管理システムへは、専用の個別配電盤(専用電源)から電力が供給される。この配電盤は高周波ノイズを抑えるフィルタが組み込まれ、精密機器用のアース配線も独立したシステムとなっている。

IBCに設置される高性能電力と一般用電力の分配システムは、オリンピック放送機構(OBO)と協力して設計する。

8.20 電気事業者が、通常業務に与える影響を十分に考慮した上で、(恒久又は仮設設備により)質と柔軟性を備えた適切なレベルの電力を供給するとともに、オリンピック・パラリンピックを運営している全ての場所に対して運営支援を行い、一般の電力利用者に影響が生じないようにすることについて、関連する官公庁からの保証を提出してください。

保証については、保証ファイルを参照のこと。

通信

8.21 オリンピック・パラリンピック競技大会組織をサポートするために固定電話網と携帯電話網の追加インフラが必要な場合、そのインフラについて説明し、どの事業者が設置の準備をしているのかを列挙してください。上記の事業者は追加インフラの敷設費を大会組織委員会に請求しますか。あるいは、大会開催時に開催国で施行されている標準的な料金表に基づいて、使用料金のみが大会組織委員会に請求されるのですか。

大会開催に十分な能力をもつ通信インフラ

オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時に必要となる通信能力は、既存及び計画済みの通信インフラによって十分に確保できる。

NTT東西は法律により電話サービスの日本全国における適切、公平かつ安定的な提供の確保の責務が課せられており、日本全国で信頼性が高い固定電話のインフラが整備されている。また、固定ブロードバンド網の整備率は、全国で約100%(2012年3月末)であり、さらに下り30Mbps以上の超高速ブロードバンドについても約97%(2012年3月末)となっている。固定電話から映像配信まで様々な種類の通信を提供できる高速大容量の通信ネットワークが日本中で利用可能であり、オリンピック関係施設にも提供される。

また、複数の携帯電話事業者(NTTドコモ、KDDI/沖縄セルラー電話、ソフトバンクモバイル、イー・アクセス)が関東で第3世代と第3.9世代(LTE: Long Term Evolution)用を併せて約110,000(2012年3月末)の基地局を設置しているなど、既に大会の開催に伴う膨大な利用者の増加にも十分に耐え得るだけの能力を有している。

大会のために追加インフラを構築する必要はない。しかし、既設や新設の競技会場及び非競技会場で恒久的な利用を考えている施設に

おいて、追加インフラが必要となった場合には、各通信事業者の負担で整備をさせ、使用料金のみを大会組織委員会が負担する。

仮設の施設に限っては、通信設備の拡張やアップグレードにおけるインフラの整備費用及び使用料金ともに大会組織委員会が負担する。

8.22 オリンピック・ファミリーが競技会場と非競技会場でワイヤレス技術を使用できるようにするための貴都市の取り組みを説明してください。

充実したワイヤレスサービスの提供

日本は情報通信技術(ICT)において非常に進んだ国であり、オリンピック・ファミリーは、すべての競技会場及び非競技会場で、無線LAN、LTE、WiMAXなど、高速・大容量のデータ通信ワイヤレスサービスを利用することができる。

大会組織委員会は、無線LAN設備を競技会場、IBC/MPC、選手村等に必要に応じて設置又は増設して、オリンピック・ファミリーに無償で開放する。また、公衆無線LANは、オリンピック・ファミリー用ホテル、空港等で使用できる。

LTE及びWiMAXは、既に全国の主要都市をカバーしており、オリンピック・ファミリーは、東京大会に関係する会場及びその周辺地域でこれらの高速無線サービスを使用できる。

図 8.18 2020年東京大会の電力ダイヤグラム

